

ものづくり企業の

大阪地域 × 各務原 企業交流会

変革^{へんかく}と挑戦^{ちようせん}

～交流と対話から始まる新たな一歩

2023年 2月10日(金) 午後2時～5時30分

産業文化センター 2階第3会議室 (各務原市那加桜町 2-186) | 参加無料

事業環境の目まぐるしい変化や、新しい価値観への移行期にある現在、ものづくり企業が生き抜くためには、急激な変化に対応できるよう企業を変革することが求められています。

本交流会では、皆様の企業変革、新事業展開のヒントや新たな繋がり^{の創出}を目指し、事業創造のプロによる「新事業創造による企業変革」についての講演や、市内ものづくり企業とデザイナーの連携事例をお伝えするとともに、中小企業の交流・連携活動で全国的に注目される大阪地域のコア企業3社による取組紹介とパネルディスカッション、参加者によるグループワークを行います。ぜひご参加ください。

対象 中小企業の方（経営者と役員、経営者と現場リーダーなど複数名での参加を推奨）

定員 30人程度（定員を超えた場合、各務原市内企業を優先）

申込 2月3日(金)までに右記QRコード®でお申し込みください。



14:05 ~ 14:45 基調講演「新事業創造による企業変革」

株式会社ゼロワンブスター 共同代表 / 取締役 合田 ジョージ氏

MBA、理工学修士。東芝の重電系研究所・設計、国際アライアンスや海外製造によるデザイン家電の商品企画。村田製作所にて、北米およびMotorolaの通信デバイス技術営業後、通信分野の全社戦略に携わる。スマートフォン広告のNobot社のマーケティングや海外展開を指揮、KDDIグループによる買収後には、M&Aの調整、グループ子会社の海外戦略部部長。現在は01Boosterにて事業創造アクセラレーターをアジアで展開中。



14:45 ~ 15:00 事例紹介「市内ものづくり企業との連携事例」

株式会社リトルクリエイティブセンター

取締役 / アートディレクター・デザイナー 横山 七絵氏

岐阜県岐阜市生まれ。2011年にALASKABUNGUを創業した後、2014年株式会社リトルクリエイティブセンターを創業。企業やお店のグッズや商品の企画開発、アラスカ文具のオリジナル商品も手がけている。



15:10 ~ 16:00 事例紹介・パネルディスカッション

『FactorISM』の軌跡 / 変革と挑戦の現場で起こっていること

株式会社友安製作所 ソーシャルデザイン部担当執行役員 松尾 泰貴氏

13年勤めた八尾市をやめ、2021年4月に友安製作所入社。秘書課、産業政策を経て、経済産業省で関西圏内のベンチャー政策に携わる。みせるばやおを立ち上げ、『地方公務員アワード2019』を受賞。継続的にまちづくりに関わり、国のオープンファクトリー研究会委員や八尾市事業のプロデュースを行う。



錦城護謨株式会社 代表取締役社長 太田 泰造氏

1972年生まれ、大阪府出身。2001年に錦城護謨(株)へ入社。2009年、代表取締役社長に就任。就任後、既存事業に加え福祉事業を新たに立ち上げ、開発した視覚障がい者歩行誘導マット「歩導くんガイドウェイ」は米独の国際的デザイン賞を3賞受賞するなど、評価を受けている。また2021年には経済紙Forbes JAPANが選出する「今年の顔100人」の「2021 Forbes JAPAN 100」に選出。



株式会社河辺商会 代表取締役社長 福田 康一氏

大学(薬学部)在学中に父親が現在の会社である河辺商会にヘッドハンティングされたが、大学卒業後は薬剤師として勤務。その後、後継者にならないかと声が掛かり、薬剤師を辞め29歳の時に入社。入社半年後にはタイ工場立ち上げのため派遣され、そこから約8年間タイ工場の経営に携わる。2014年より日本帰任し2018年より社長就任。

河辺商会は創業1955年。プラスチック成形加工及び金型製作を生業とし、古くから家電関係を中心にBtoBでのビジネスを行ってきた。現在は自動車関係の仕事も増える中、2021年より自社商品の製造販売を開始しこれからはBtoCでのビジネスにも挑戦していく。



16:15 ~ グループワーク (意見交換) コーディネーター: 合田 ジョージ氏

17:25 ~ 施策説明

詳細 各務原市産業活力部産業政策室 058-383-1697 sansei@city.kakamigahara.gifu.jp

主催 各務原市・各務原商工会議所

※本交流会は、岐阜県補助金「地域産業活性化事業」を受けて実施します